

報道関係各位

レースからトレイルライドまで幅広く活躍する
フルサスペンション MTB「NINETY-SIX」新発売

メリダジャパン株式会社

貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

メリダジャパン株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:高谷 信一郎)は、XC(クロスカン트리)、マラソンなどのレースから、トレイルライドまで幅広く活躍するモデル「NINETY-SIX」シリーズを 2021年ラインナップからフルモデルチェンジをして、新発売いたします。



NINETY-SIX RC 9000

2008年に初登場し、ワールドカップと世界選手権で優勝したフルサスペンションレースバイク、NINETY-SIXは、この10年で大幅な変更や改良が施されてきましたが、この最新モデルは、過去のモデルからもっとも顕著に進化しました。現代のXC、マラソン、ステージレースだけでなく、軽量のショートトラベルバイクでのトレイルライドへの私たちなりの答え、それがトレイルからレースコースまでを全開で楽しめるNINETY-SIXです。

過去には Multivan-MERIDA Biking チームに所属していたガンリタ・ダール・フレッシュ選手、ホセ・アントニオ・ヘルミダ選手、ラルフ・ナフ選手、オンドレイ・チンク選手が乗り、国際的なマウンテンバイクレースの最高峰で輝かしい成績を残してきました。しかし近年のより過酷なレースコースが設定される傾向や、超高性能の軽量ショートトラベル フルサスペンションバイクを求めるライダーの増加から、MERIDA の R&D チームは NINETY-SIX のデザインを一から見直し、まったく新しいバイクを作り上げました。

新たな NINETY-SIX で次の 10 年を戦うべく、チームは今までとは別物となるフレームを造り上げ、数々の特徴を最新ジオメトリーや改良したサスペンションプラットフォームと組み合わせました。新型 NINETY-SIX では、2 種類のグレードのカーボンフレームが用意され、最上級グレードの RC CF5 のフレームは重量がわずか 1,695 グラム、RC CF4 /M サイズのフレーム重量が 1,845 グラムとなっています。

その昔、XC やマラソン競技用レースマシンは、登坂性能に主な焦点を当てていました。しかし現在はコースの登り以上に下りで技量が問われるようになったため、下りの性能がますます重要となっています。そこで下りの性能と荒れたセクションでのハンドリング性を向上させるべく、ヘッドアングルを 1.5 度寝かせ、リーチを伸ばし(L サイズで 449mm から 473mm へ)、BB ハイトとスタンドオーバーハイトを下げる形でジオメトリーを変更しました。この変更から、バイクの安定性がより高まり、バイクを操作する際のポジションにさらなるゆとりが生まれるようになりました。また、NINETY-SIX ではバイクとの一体感が高まっており、トレイルやコースが荒れ出したときにバイクを確実に操作できます。しかし、現代の仕様に進化したのは、下りの性能だけではありません。シートアングルを 1.5 度(サイズによっては 2 度)立たせ、ペダルにより多くの力を簡単に掛けられるようになっているため、効率性と反応性により優れた登坂性能も備わっています。



安定感と操作性を高めた新設計フレーム

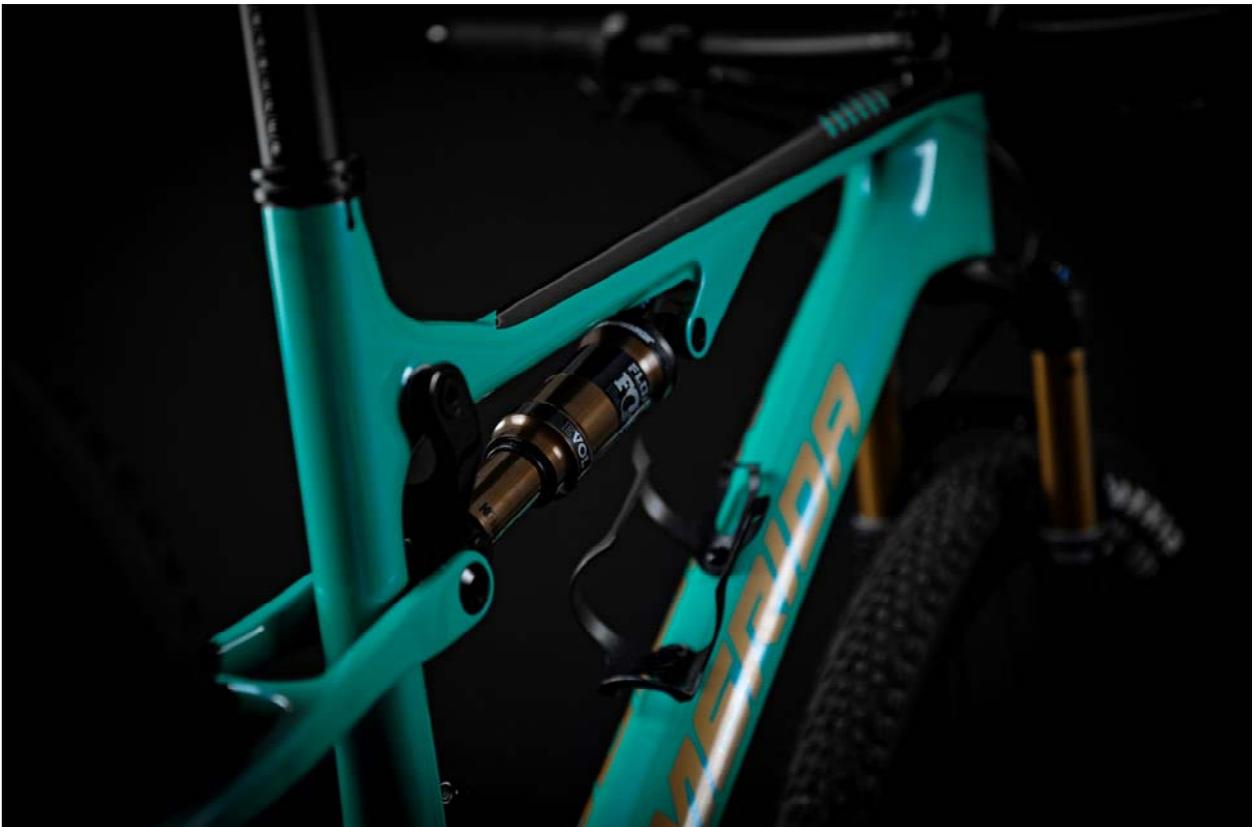


下りでのハンドリングを向上させるヘッドアングル



より立てたシートアングルでペダル効率を向上

しかし、優れたジオメトリーも、完璧に機能するサスペンションプラットフォームがあってこそのこと。新型 NINETY-SIX のレバー比は、旧世代のものよりプログレッシブになっています。その割合は7%以上で、これは現在のクロスカントリー用ショックの小さなエアチャンバーと完璧にマッチしています。トラベル初期での高めのレバー比が、サスペンションを小さな衝撃に対して敏感に反応させ、トラベル中間域になると、優れたサポート性を発揮します。



XC 用エアチャンバーとマッチしたフレーム

加えて、今回から P-FLEX システムも新たに導入しました。この新しいシステムは、シートステーとチェーンステーにピボットを持ちません。そのため、フレームの軽量化と剛性の向上という好影響をもたらします。フレーム素材の特性や板バネのようなフレームデザインにより、耐久性を損なうことなく、十分なしなりを生み出します。新しいサスペンション構造から、NINETY-SIX は下りや荒れたセクションで衝撃吸収性が驚くほど高いだけでなく、走行距離をどんどん稼ぎ、過酷な登りでさえ挑めるようにする優れたペダリング効率を発揮します。



P-FLEX システム搭載のリヤ

その他にも「ワイヤーポート」ヘッドセットを介した新たなケーブルインテグレーションや 2 箇所の水ボトル台座、専用チェーンガイド、トレイルマウントなど、様々なスペックを備えています。



ワイヤーポートヘッドセット



2 箇所のボトル台座

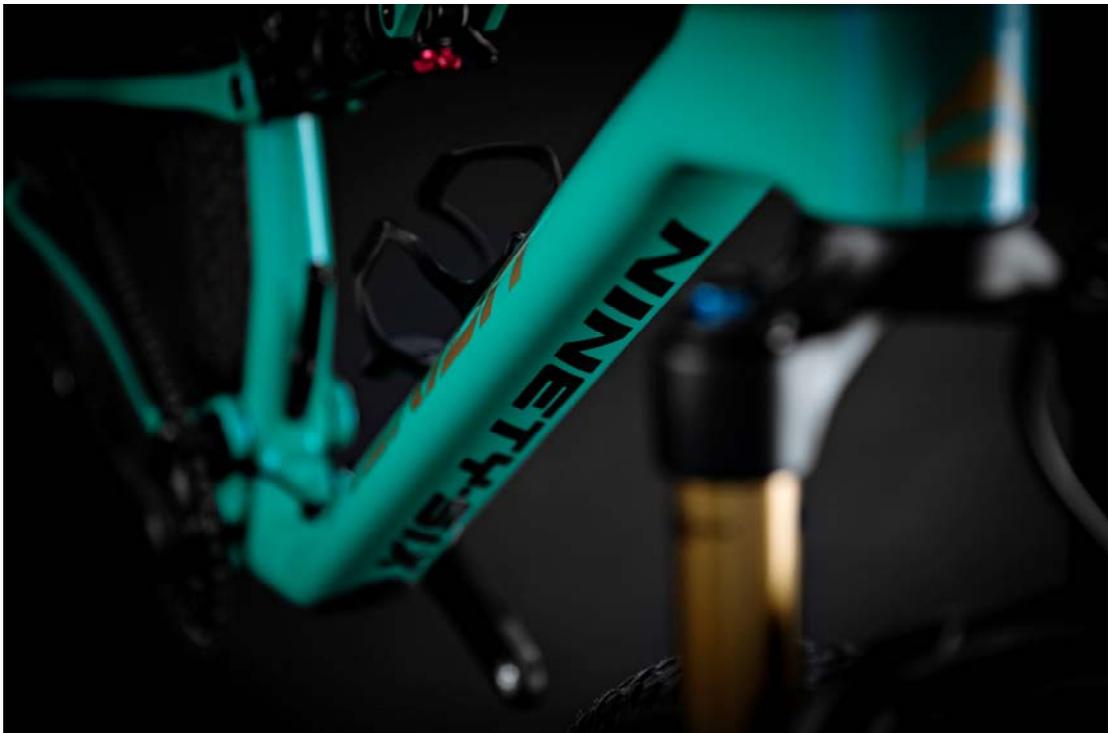


専用チェーンガイド



専用トレイルマウント

ジオメリーとサスペンションはどちらも軽さを併せ持ち、互いに完璧に作用しあい、トレイルとレースコースを全開で楽しめるよう、最も高性能でサポート性に優れ、NINETY-SIX 史上最速の 1 台となっています。



■会社概要

商号 : メリダジャパン株式会社
代表者 : 代表取締役 高谷 信一郎
所在地 : 〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町 11-27 ライフメット川崎ビル 8F
設立 : 2010年6月(創業 1890年)
事業内容: 自転車の製造販売
資本金 : 10,000 万円
URL : <https://www.merida.jp/>

本件に関するお問合せ先

メリダジャパン株式会社 ブランドマネジメント部 担当:原藤 TEL.044-221-0250

E-mail: harafuji-yutaka@gear-m.co.jp